

日本臨床歯科学会 大阪支部 2020 年度 第 4 回例会

第 213 回 大阪 SJCD 例会

衛生士セッション

2020.02.02（日）10:00～12:30

会場：大阪国際会議場

2020 年 2 月 2 日（日曜日）大阪国際会議場において、日本臨床歯科学会 大阪支部衛生士会 衛生士セッションが開催された。

今回の 2 名の衛生士会員による発表では、重度慢性歯周炎の患者さんへのアプローチや口腔機能発育不全症への理解と訓練方法など、大変興味深い内容の発表であった。

1) 「SOAPIE を用いた口腔衛生指導」 鈴木 恵さん（かわさと歯科）

歯周治療において、プラークコントロールの確立は重要であり、患者さんの継続したモチベーションが必要である。そこで、SOAPIE を用いた指導を行うことで、患者自身に現状を理解してもらうだけでなく、衛生士サイドも患者さんの特徴などを整理できる良いツールであり、大変参考になる内容であった。



2) 「全身の健康と大きく関わる口腔機能発達不全」 熊田 玲子さん(堀口歯科医院)

矯正治療において医院で行われている習癖や筋機能へのトレーニングの方法など、医院での熱心な取り組みを発表され、矯正治療中の患者さんや小児の対応に学びの多い時間となった。



そして後半は、理事である牧江寿子さんによる「患者満足度アップの口腔ケア」という演題で、教育講演が行われた。長年患者さんとの関係を築いてこられた背景が、症例を通して感じる内容であり、衛生士としてプロフェッショナルとは何かを再認識する、大変素晴らしい講演であった。



理事 牧江 寿子さん(木原歯科医院)